

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 P T A
学 校 名	静岡県立掛川特別支援学校 御前崎分校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	34名

1. 使用状況

寄贈物品名	長胴太鼓 台座付／平太鼓 立台座付
使用学年及び人数	高等部1～3年生
使用頻度	毎週の音楽の時間(週1回)
使用状況	<p><1学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生徒18名が、器楽演奏として和太鼓を使用した。 ⇒長胴太鼓は、二人一組(一人は節打ち)で、曲の節目に交代して打つ方法で和太鼓演奏に取り組んだ。 <p><2学期></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望(興味)を基に高等部全体で縦割りグループを編成し、その一つのグループ(生徒9名)で和太鼓を扱っている。 ⇒テーマ「波」から打ち方を工夫したり、自らリズムを考えたりする学習も含め行っている。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・長胴太鼓と平太鼓を合わせて10セット寄贈いただいたことで、和太鼓の演奏グループを設定できるようになった。 ・寄贈していただく前は、座位で打つ高さの台しかなかったため、立位による大きな動作で打つ学習活動が可能になった。 ・和太鼓は、他の生徒と音を合わせて打つことやテーマに合わせた表現(大きさと強さ)を工夫して打てる良さがあり、生徒が自信をもって表現する姿につながってきている。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習につながるよう、興味をもって和太鼓に親しむ学習を進めていきたい。そのために、音楽のまとめの時間に他のグループと見合う時間を設けたり、動画等で、和太鼓演奏に触れたりしながら進めていきたい。
その他希望や所感など	<p>寄贈して頂いた太鼓を音楽の時間で活用しています。生徒たちも音楽の時間を楽しみにしていて、太鼓の準備も生徒自ら率先して行っています。ありがとうございました。</p>

2. 活用の様子



音楽グループ発表に向けて太鼓の練習



周りの友達と息を合わせて演奏します

太鼓を打つ姿がかっこよくなりました

